

## ハローキャリアワーク通信

12月26日（火曜日）に、KIS（キティインターナショナルスクール）から依頼があった「英語での保育のお手伝い」また、キティインターナショナルスクールの一員として「キティインターナショナルスクールのPR動画の作成」の第2回目が行われました。今回は、体調不良で1名の欠席があり9名の活動になりました。



そこで、3名ずつ3つのグループに分かれ、PR動画作成の完成を目指すグループと英語での保育のお手伝いグループに分かれて、入れ替わりながら活動を開始しました。保育のお手伝いのグループの子どもたちは、とても緊張した様子で幼児の前に立ち、簡単に自分の名前を英語で伝えました。このグループを保育するのは、



NIKKO FNJUNDANO 先生(AUSTRALIA)で、子どもたちが緊張しているのを見ると、最初に、体を動かす軽い運動から入りました。幼児は対面して、NIKKO 先生の真似をし、子どもたちは幼児に向かって同じように体を動かしました。



次に、円になって座り、NIKKO 先生が幼児に向かって「What your name?」と問いかけ、手を挙げた幼児が、子どもを指名して「What your name?」と聞きました。指名された子どもは「My name is OO」と答えていました。このことを数人の幼児に繰り返させ、3名の子どもたち一人一人は答える中で、緊張が徐々に解

けていきました。さらに場所をテーブル席に移動して、子ども1人に数人の幼児が同じテーブルに座り、子どもたちとの距離が近くなりました。そこでも、「What your name?」を繰り返し、より親

近感を詰めていきました。ここで、Story Comic の仕上げを進める時間となったため、次のグループと交代しました。次のグループの子どもたちは、緊張するかと思っていたましたが、椅子に腰かけるとすぐに幼児に話しかける様子が見られ、前のグループよりも楽しさが伝わりました。このグループでは、NIKKO 先生がカードの色当てゲームを行い、幼児がとても楽しんでいました。そこで、NIKKO 先生が子どもたちに「先生役をやってください」と声を掛けると、子どもの一人は、NIKKO 先生と同じようにカードの色当てゲームに

た。

そこで、3名ずつ3つのグループに分かれ、PR動画作成の完成を目指すグループと英語での保育のお手伝いグループに分かれて、入れ替わりながら活動を開始しました。

保育のお手伝いのグループの子どもたちは、とても緊張した様子で幼児の前に立ち、簡単に自分の名前を英語で伝えました。このグループを保育するのは、

NIKKO FNJUNDANO 先生(AUSTRALIA)で、子どもたちが緊張しているのを見ると、最初に、体を動かす軽い運動から入りました。幼児は対面して、NIKKO 先生の真似をし、子どもたちは幼児に向かって同じように体を動かしました。

次に、円になって座り、NIKKO 先生が幼児に向かって「What your name?」と問いかけ、手を挙げた幼児が、子どもを指名して「What your name?」と聞きました。指名された子どもは「My name is OO」と答えていました。このことを数人の幼児に繰り返させ、3名の子どもたち一人一人は答える中で、緊張が徐々に解

けていきました。さらに場所をテーブル席に移動して、子ども1人に数人の幼児が同じテーブルに座り、子どもたちとの距離が近くなりました。そこでも、「What your name?」を繰り返し、より親

近感を詰めていきました。ここで、Story Comic の仕上げを進める時間となったため、次のグループと交代しました。次のグループの子どもたちは、緊張するかと思っていたましたが、椅子に腰かけるとすぐに幼児に話しかける様子が見られ、前のグループよりも楽しさが伝わりました。このグループでは、NIKKO 先生がカードの色当てゲームを行い、幼児がとても楽しんでいました。そこで、NIKKO 先生が子どもたちに「先生役をやってください」と声を掛けると、子どもの一人は、NIKKO 先生と同じようにカードの色当てゲームに

た。ここで、Story Comic の仕上げを進める時間となったため、次のグループと交代しました。次のグループの子どもたちは、緊張するかと思っていたましたが、椅子に腰かけるとすぐに幼児に話しかける様子が見られ、前のグループよりも楽しさが伝わりました。このグループでは、NIKKO 先生がカードの色当てゲームを行い、幼児がとても楽しんでいました。そこで、NIKKO 先生が子どもたちに「先生役をやってください」と声を掛けると、子どもの一人は、NIKKO 先生と同じようにカードの色当てゲームに

た。ここで、Story Comic の仕上げを進める時間となったため、次のグループと交代しました。次のグループの子どもたちは、緊張するかと思っていたましたが、椅子に腰かけるとすぐに幼児に話しかける様子が見られ、前のグループよりも楽しさが伝わりました。このグループでは、NIKKO 先生がカードの色当てゲームを行い、幼児がとても楽しんでいました。そこで、NIKKO 先生が子どもたちに「先生役をやってください」と声を掛けると、子どもの一人は、NIKKO 先生と同じようにカードの色当てゲームに

た。ここで、Story Comic の仕上げを進める時間となったため、次のグループと交代しました。次のグループの子どもたちは、緊張するかと思っていたましたが、椅子に腰かけるとすぐに幼児に話しかける様子が見られ、前のグループよりも楽しさが伝わりました。このグループでは、NIKKO 先生がカードの色当てゲームを行い、幼児がとても楽しんでいました。そこで、NIKKO 先生が子どもたちに「先生役をやってください」と声を掛けると、子どもの一人は、NIKKO 先生と同じようにカードの色当てゲームに







取り組み幼児を楽しませることができました。Story Comic を完成させる時間の都合で、ここで最後のグループと交代をして、NIKKO 先生が今度は、ワークシートを使って幼児を楽しませることになりました。子どもたちの中には、幼児にワークシートを配る子もいました。また、すぐに抱っこをせがむ幼児がいて、膝の上に載せるなどほほえましい様子も見られました。ワークシートでは、

NIKKO 先生の質問に幼児が答え、それを確認する子どももいました。

幼児との触れ合いの後は、Story Comic の仕上げに向けて、齊藤社長よりさらに説明や支援をいただきながら、子どもたちは仕上げていきました。作業が進むにつれて、自分の作品に色を付けるなどしてより分かりやすくしていきました。また、吹き出しを付けて、その中に「Hello ! My name is〜」と英語で言葉を書き加え、絵の様子をより詳しくするようにもしていました。



いよいよ完成し、一人一人自分の Story Comic を披露する時間になりました。それぞれ特徴があり、齊藤社長からは、どれも素晴らしい作品ですとの言葉をいただき、子どもたちも満足した様子でした。



いよいよ完成し、一人一人自分の Story Comic を披露する時間になりました。それぞれ特徴があり、齊藤社長からは、どれも素晴らしい作品ですとの言葉をいただき、子どもたちも満足した様子でした。

